

各 位

東京都港区浜松町一丁目 27 番 16 号
 株式会社インフォーマット
 代表取締役社長 村上 勝照
 (コード番号：2492 東証マザーズ)
 問い合わせ先
 常務取締役兼管理本部長 藤田 尚武
 電話 (03)5777-1710

株式会社フィデックとの業務提携について

当社が運営しておりますフード業界企業間電子商取引 (BtoB) プラットフォーム「FOODS Info Mart (フーズインフォーマット)」の利用企業に向けて、キャッシュフローの効率化及び決済業務の簡素化等のニーズに応えることを目的に、株式会社フィデックと業務提携を行ない、金融サービス「C.Fダイレクト」の提供を開始いたします。

1. 業務提携の概要及び背景

(1) 業務提携の内容

2008 年 7 月より、「FOODS Info Mart」の利用企業に対して、フィデック社の売掛金先払いサービス「C.Fダイレクト」を提供してまいります。また、両社の既存サービスをそれぞれの顧客に紹介し、サービスの連携を図ることで、顧客の業務効率化に貢献し、顧客満足度を高めてまいります。

(2) これまでの両社の実績

今回の提携は、フード業界と金融業界において、それぞれのサービスの「標準化」を推進してきた当社とフィデック社が協業し、新たな事業展開を行う点で、意味のある提携であると考えております。

当社は、フード業界に特化し、「FOODS Info Mart」の業界標準化の推進を行ってまいりました。「FOODS Info Mart」利用企業数は 17,267 社 (2008 年 3 月末現在)、「ASP 受発注システム」の年間取引高は 3,410 億円 (2007 年度/外食業界仕入全体の約 4.7% (注)) と順調に拡大し、標準化へ向けて着実に進んでおります。

フィデック社は、これまで金融業界において、支払事務のアウトソーシングサービスと売掛金の先払いサービスを融合させた新しい金融サービスを展開しております。現在までにサービス導入企業は 104 社、納入企業 (中小企業) は約 40,000 社、2008 年 3 月期は 2,772 億円の売掛金債権の買取りを行ってきた実績がございます。



(注) 2006 年外食産業市場規模、24 兆 3,592 億円 (社団法人フードサービス協会 外食産業データより) から、仕入金額を 30%の前提で計算すると、7 兆 3,078 億円となり、当社の上記取引高は、約 4.7%にあたる (当社計算により算出)

(3) 業務提携の目的・メリット

これまで各業界で実績を収めてきた両社の業務提携により、現在提供中のサービスの活性化、拡充等の相乗効果が期待できます。

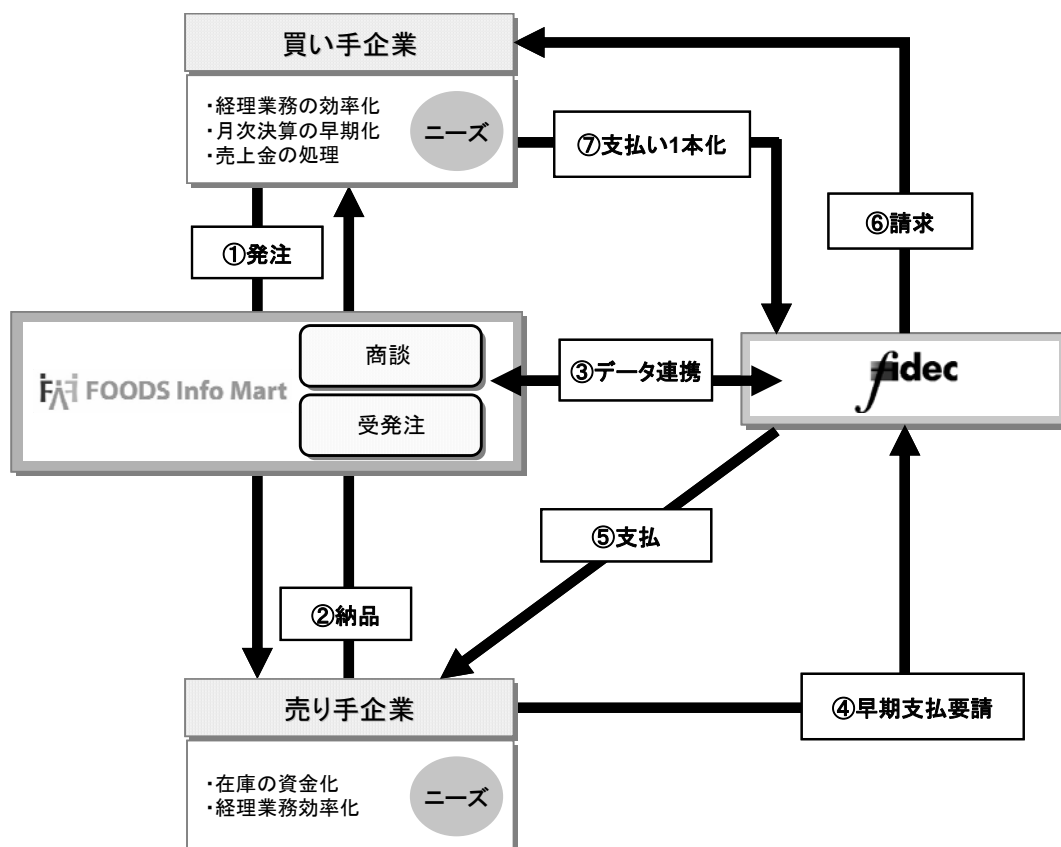
当社は、「C.Fダイレクト」の提供により、「FOODS Info Mart」利用企業の決済・支払いにおける業務改善、キャッシュフローの効率化等のニーズに対応してまいります。また、フィデック社の既存取引先に対して「ASP 受発注システム」の導入を推進することで、日々の受発注業務のIT化、更なる効率化を実現してまいります。

フィデック社は、「FOODS Info Mart」利用企業の「C.Fダイレクト」の活用を通じ、自社サービスの提供範囲の拡大を進めます。また、金融サービスの提供に加え、既存顧客の受発注業務の効率化ニーズに対して、「FOODS Info Mart」を紹介することで、顧客の業務の効率化を実現し、顧客満足度を高めてまいります。

(4) 「C.Fダイレクト」について

「C.Fダイレクト」は、売掛金を早期に資金化し、売り手企業のキャッシュフローの効率化が図れるサービスです。売り手企業が早期の支払いを希望する場合、「FOODS Info Mart」内での受発注データをもとに、フィデック社が売掛金を、締め後の10日後に先払いを行ないます。これにより、売り手企業は、早期の資金決済が可能となり、資金繰りが改善します。また、フィデック社より先払いが行なわれた後は、買い戻し請求は行われないため、売掛金の回収不能による損失を防ぐことができます。一方、買い手企業は口座の集約により、支払業務の効率化を実現します。サービスの利用に伴い、売り手企業は、一定の手数料を支払う必要があります。

<フード業界のニーズ及びサービススキーム図 >



2. 今後の見通し

今期は、「FOODS Info Mart」利用企業に向けて、「C.Fダイレクト」の導入を促進し、来期からの本格的な取り組みの基盤を作ってまいります。当初の目標としましては、来期中に「C.Fダイレクト」月額取扱高10億円の実現を目指し、サービス利用の普及に取り組んでまいります。

本業務提携による今期業績への影響につきましては、平成20年2月13日に発表いたしました平成20年12月期業績予想と変更はありません。今後、サービス提供の進捗状況が、業績に重要な影響を与えることが判明した場合には速やかにお知らせいたします。

3. 両社の会社概要（平成 20 年 3 月 31 日現在）

(1) 株式会社インフォーマート

名称	株式会社インフォーマート（東証マザーズ：2492）
事業内容	フード業界企業間電子商取引プラットフォーム 「フーズインフォーマート（FOODS Info Mart）」の運営
本店所在地	東京都港区浜松町一丁目 27 番 16 号
代表者	代表取締役社長 村上 勝照
資本金	999 百万円
従業員数	117 名（派遣：31 名）
共同事業先	社団法人日本フードサービス協会 社団法人日本セルフ・サービス協会
取引先	フード業界企業 17, 267 社

(2) 株式会社フィデック

名称	株式会社フィデック（東証一部：8423）
事業内容	経理アウトソーシング及び売掛金流動化事業
本店所在地	東京都千代田区有楽町一丁目 1 番 3 号
代表者	代表取締役 深田 剛
資本金	3, 668 百万円
従業員数	63 名（臨時従業員数：90 名）
主要取引先	株式会社ドン・キホーテ、株式会社ゼットン、株式会社プラン・ドゥー・シー 等

【参考資料】

< 「FOODS Info Mart」利用企業の「C.Fダイレクト」利用メリット >

■ 買い手企業

1	支払業務の効率化が図れる
	・新規取引先が増える度に口座開設をする手間がなくなる
	・振込み口座はフィデック社に一本化され、振込作業や手数料軽減にも繋がる
	・支払い業務が軽減するため、小額取引や緊急時の取引もスムーズに行なえる
2	支払いフローは従来通り
	・支払いフローはこれまでと変わらず、フィデック社へ支払うだけ
	・費用（イニシャルコスト・ランニングコスト）が一切かからない

■ 売り手企業

1	売掛金を早期回収できる
	・売掛金を、締めの日後に回収ができる
	・フィデック社より先払いが行なわれた後は、買い戻し請求は行なわれず、売掛金回収リスクを回避できる
	・仕入価格の交渉材料としても活用でき、現金による安価な仕入れが可能
2	業務効率化が図れる
	・取引先への請求書発行業務や集金業務が不要となり、人員削減・業務効率の向上を図れる

以 上